

令和５年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別	
現代文B		3 学年	2	7 0	必修	
教科書（出版社）		精選現代文B（東京書籍）				
担当教員						
学習の目標	○学習指導要領に基づき国語を的確に理解し適切に表現する能力を育成するとともに、伝え合う力を高め、思考力を伸ばし心情を豊かにする。さらに言語文化に対する関心を高め、言語感覚の向上を図る態度を育てる。 ○大学入試に対応できるような適切な読解力を身に付ける。 ○本を読む楽しさ、知識を吸収する楽しさを知り、人間性を豊かにする基盤を養う。					
授業内容	1 学期	・ 随想 「言葉を生きる」	若松英輔	授 業 時 数	図 書 館 ・ ICT 機器利用	
		・ 評論 「言語と記号」	丸山圭三郎			
		（中間考査）				
	2 学期	・ 小説 「舞姫」	森鷗外	2 7	適宜利用	
		（期末考査）				
		・ 頻出現代文重要語 7 0 0				
	授業内容	3 学期	・ 意味から学ぶ頻出漢字			
2 学期		・ 小説 「檸檬」	梶井基次郎	3 5	適宜利用	
		・ 評論 「社会の壊れる時」	鷲田清一			
		（中間考査）				
3 学期		・ 評論 「環境問題と孤立した個人」	河野哲也	8	適宜利用	
		・ 評論 「他者の声 実在の声」	野矢茂樹			
		・ 評論 「鏡の中の現代社会」	見田宗介			
3 学期	（期末考査）					
	・ 頻出現代文重要語 7 0 0					
	・ 意味から学ぶ頻出漢字					
3 学期	・ 評論「平気 正岡子規」	長谷川櫂	8	適宜利用		
	・ 頻出現代文重要語 7 0 0					
	・ 意味から学ぶ頻出漢字					
評価の観点・方法	※生徒の理解度、その他の事情により、必ずしも上記の計画通り展開するものではない。					

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
国語科（国語常識）		3 学年	2	7 0	自由選択
教科書（出版社）		浜島書店『新訂 実用国語セミナー』			
担当教員					
学習の目標	・ 学習指導要領に基づき、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・ 思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。 ・ 漢字を始めとする国語常識力・語彙力を身につける。 ・ 敬語については、社会に出て十分に通用する力を涵養する。				
授業内容	1 学期	1 漢字・語句 毎時間、漢字・語句の小テストの実施。 2 基本的な表記、表現 常体、敬体の使い分け、ら抜き言葉、若者言葉、文のねじれ、呼応の副詞等基本的な表記、表現を習得する。 3 敬語 尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践を通し習得する。 4 四字熟語・ことわざの学習 5 作文・志望動機・自己推薦文	授業時数	2 4	図書館・ICT 機器利用 ICTPC を利用して、敬語の種類に関する問題を出題する。
	2 学期	1 漢字・語句 毎時間、漢字・語句の小テストの実施。 2 常識用語、時事用語、略語などの語彙について習得する。 3 文学史の基礎知識 4 問題演習 5 作文・志望動機・自己推薦文 ※生徒の理解度、その他の事情により、必ずしも上記の計画通り展開するものではない。		2 8	ICTPC を利用して、漢字・語句に関する問題を出題する。 図書室を利用して、文豪の作品を読む。
	3 学期	1 手紙の書き方 手紙文の構成、手紙文のマナー 2 電話の応答、メールのマナー		1 8	ICTPC を利用して、手紙・メールの書き方を学ぶ。
評価の観点・方法	・ 出席状況 ・ 学習態度 ・ 小テスト ・ 提出物 これらを基に総合的に評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
国語総合（現代文演習）		3 学年	2	7 0 時間	選択
教科書（出版社）		共通テスト対策問題集 （河合出版） 思考の論理スイッチ2 （浜島書店）			
担当教員					
学習の目標	・ 大学受験のための実力養成（共通テスト・私立一般入試対応講座）				
授 業 内 容	1 学 期	・ 共通テスト対策問題および記述式問題の演習 ・ 小テストによる語彙力等の基本的事項の確認		授 業 時 数 2 8	図 書 館 ・ ICT 機 器 利 用 適宜利用
	2 学 期	・ 共通テスト対策問題および記述式問題の演習 ・ 小テストによる語彙力等の基本的事項の確認		3 4	適宜利用
	3 学 期	・ 共通テスト対策問題および記述式問題の演習 ・ 小テストによる語彙力等の基本的事項の確認		8	適宜利用
評価の観点・方法	・ 出席状況 ・ 学習態度 ・ 小テスト ・ 提出物 以上を総合的に評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
国語表現		3	2	6 2	選択
教科書（出版社）		国語表現（大修館書店）			
担当教員					
学習の目標	・ 自分の意見を適切かつ効果的に表現する能力を養う。 ・ 物事を多様な視点から見て判断する能力を養い、思考力や批判力を養う。 ・ 大学・短大・専門学校などの入試に対応した論述能力を養う。				
授業内容	1学期	・ 原稿用紙の基本的な使い方を習得させる。 ・ 小論文と作文の違いについて理解させる。 ・ 適切な段落構成による論述力を身につける。 ・ 時間を有効に使い、論述する能力を養う。 ○さまざまな形式の小論文問題に取り組む。 ○頻繁に出題されるテーマの実践問題に取り組む。 ○段落の構成に工夫をし、説得力ある文章を書く ○時事問題に関心を持ち、自分の意見をしっかり持つ。		授業時数	図書館・ICT 機器利用
				1 6	
	2学期	・ 生徒の進路に応じた個別指導も行う。 ・ さまざまな形式の小論文問題に取り組む。 ○近年の出題傾向に即したテーマの実践問題に取り組む。 ○段落構成を工夫し、読み手に理解しやすい文章を心がける。 ○時事問題に関心を持ち、自分の意見が持てるようにする。		2 8	
		3学期	・ 生徒の進路に応じた個別指導も行う。 ・ さまざまな形式の小論文問題に取り組む。 ○近年の出題傾向に即したテーマの実践問題に取り組む。 ○段落構成を工夫し、読み手に理解しやすい文章を心がける。 ○時事問題に関心を持ち、自分の意見が持てるようにする。		1 8
	評価の観点・方法		・ 毎時間提出させる課題や問題集の取り組み状況により総合的に判断して評価する。		

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別	
古典B		3	3	90	必修	
教科書(出版社)		第一学習社『標準古典B』			担当教員	
学習の目標	・ 学習指導要領に基づき、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。 ・ 古典に親しみ、日本文化と有職故実、漢文学への関心と理解を深める。 ・ 1,2年次に学習した基礎的な文法力や知識を踏まえた上で古文読解の楽しさを知る。					
授業内容	1学期	古文・文法事項の復習及び古典作品の読解と鑑賞 宇治拾遺物語『亀を買ひて放つ事』 唐物語『望夫石』 十八史略『水魚之交』 (中間考査) 源氏物語『光る君誕生』 史記『鴻門之会』 (期末考査)			授業時数 34	図書館・ICT 機器利用 ICT を使用し、本文読解や視覚教材の提示を行う
	2学期	古文常識・文学史・四字熟語の習得 より深い知識・教養の養成 和泉式部日記『夢よりもはかなき世の中』 大鏡『道長の豪胆』 柳先生文集『臨江之塵』 (中間考査) 源氏物語『若紫』『明石の君と姫君』 漢詩『子衿』など (期末考査)			46	ICT を使用し、本文読解や視覚教材の提示を行う
	3学期	俳諧『春夏秋冬』 ※生徒の理解度、その他の事情により、必ずしも上記の計画通り展開するものではない。			10	ICT を使用し、本文読解や視覚教材の提示を行う
評価の観点・方法	・ 小テスト、課題提出、授業態度等により、取り組みを確認する。 ・ 定期考査により、個々の理解度・習熟度を確認する。 上の2点に基づき、総合的に評価する。					

令和５年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
古典 A（古典演習）		3 学年	2	70 時間	選択
教科書（出版社）		古典 A 物語選 改訂版（大修館書店）			
担当教員					
学習の目標	・ 大学受験のための実力養成（共通テスト・私立一般入試対応講座）				
授業内容	1 学期	・ 大学入試の過去問の問題演習 ・ 副教材『L T 古文』を使用した読解力養成 ・ 小テストによる文法事項の確認		授 業 時 数 28	図書館・ICT 機器利 用 適宜利用
	2 学期	・ 大学入試の過去問の問題演習 ・ 副教材『L T 古文』を使用した読解力養成 ・ 小テストによる文法事項の確認		34	適宜利用
	3 学期	・ 大学入試の過去問の問題演習 ・ 副教材『L T 古文』を使用した読解力養成 ・ 小テストによる文法事項の確認		8	適宜利用
評価の観点・方法	・ 出席状況 ・ 学習態度 ・ 定期考査 ・ 提出物 以上を総合的に評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
世界史 B		3	2	70	自由選択
教科書（出版社）		詳説世界史 B (山川出版社) 詳説世界史 B 10 分間テスト（山川出版社） 完全攻略ステップアップ世界現代史(山川出版社)		担当 教員	
学習の 目 標	・世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
授 業 内 容	1 学 期	19 世紀後半のヨーロッパ(国民国家・東方問題) アジア諸地域の動揺 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動 第 1 次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ民族主義の進展		授業 時数 25	図書館・ICT 機 器利用
	2 学 期	世界恐慌とファシズム 第 2 次世界大戦 東西対立のはじまりとアジアの自立 冷戦と日本・ヨーロッパの復興 第三世界の自立と米ソ両大国の動揺 冷戦の解消と世界の多極化 社会主義の解体 センターレベル演習		35	
	3 学 期	センターレベル演習		10	
評 価 の 観 点 ・ 方 法	・小テストの成績を基本とし、社会的事象に対する関心・意欲、思考・判断力、資料活用の技能・技術などの観点を総合的に判断し、5 段階評定で評価する。 ・評価における観点については、定期考査・提出物・教師の観察などから総合的に判断する。				

教科・科目名		対象学年・組	単位	授業時数	必修・選択
地歴科・日本史 B		3 学年	2 単位	70 時間	自由選択
教科書（出版社） 副教材（出版社）		詳説日本史 B（山川出版） 新詳日本史図録（山川出版）	教科担当		
学習の目標	・ センター試験 70%突破できる実力養成を目標とする。 ・ 学習指導要領「日本史」で強調されている①文化の総合的な学習、②地域学習の重視、③主題学習の充実の 3 点に留意し、生徒の興味・関心を喚起する授業展開を心がける。 ・ 必修・自選日本史の内容と並行した入試問題を用いて応用力を身につけさせる。				
授業内容	学期	単元	指導内容	授業時数	指導目標
	1 学期	第 3 部近世 第 6 章幕藩体制の確立 第 7 章幕藩体制の展開	1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立 1 幕政の展開 2 経済の発展 3 元禄文化	24 h	・ 最近の日本史研究の成果を取り入れ、確実な歴史的事実を伝えていく。 ・ 世界の中の日本という視点を大事にし、地域史も積極的に取り上げていくことで郷土についての理解と愛着を深めさせる。
	2 学期	第 8 章幕藩体制の動揺 部門史	1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化 1 事件・争乱史 2 土地制度・税制史 3 法制史 4 外交史①対中国 5 外交史②対朝鮮	28 h	・ 江戸時代の授業では村方の古文書や和本などできる限り現物資料を教室に持ち込むつもりでいる。それらに触れさせることで本物のよさに着目させる。 ・ わかりやすく生徒の興味、関心を起こさせる授業展開に心がけ、さらに受験にも対応できる授業を行う。
	3 学期	部門史	6 外交史③対琉球 ・ 蝦夷	18 h	・ 授業では講義一辺倒にならないよう発問を多く取り入れ、全体として日本史の流れを把握させる。日本史学習のまとめを行う。
評価の観点・方法	・ 年 3 回の定期考査、プリント・ノート提出、授業中に行う発問等で理解度をはかる。 ・ 定期考査はもちろん、生徒の日常の学習姿勢・意欲を十分に評価に反映できるよう総合的に判断し評価を行う。また、通史のみならず部門史の学習を行い、知識の定着具合を見る。演習問題にも積極的に取り組み、大学受験にも十分対応する。				

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
必修選択 地理 B		3 年	4	1 4 0	必修
教科書（出版社）		新詳地理 B（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）			
担当教員					
学習の目標	・世界の人々の生活・文化に関し、その地域的特色と共通の課題を理解させる。 ・世界を大小さまざまな地域的まとまりとして考察させる。 ・生徒の主体的・創造的な学習能力の育成を図る。 ・生徒の地理に対する興味・関心を深め、地理的な見方や考え方を養う。				
授業内容	1学期	1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食料問題 3節 世界のエネルギー・鉱山資源		授業時数 4 8	図書館・ICT 機器利用 ICT 機器利用
	2学期	4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業 3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題		5 6	ICT 機器利用
	3学期	4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題		3 6	ICT 機器利用
評価の観点・方法	①学習活動を通じて、地理的な見方や考え方を身に付けることができたか。 ②現代社会の様子や問題について、地理的な観点から理解を深めることができたか。 上記のことについて ・年間5回の定期考査の成績により、学習内容を理解しているか把握する。 ・プリント・課題提出、授業態度、出席状況等により日常の学習状況を把握する。 ・日常の学習状況や定期考査の結果等により、学習目標の達成度を5段階で評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
世界史 B		3	4	1 4 0	必修選択
教科書（出版社）		山川出版社 『詳説 世界史 B』		担当教員	
学習の目標	・ 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
授業内容	1 学期	序章 地球と人類のはじまり 1 章 西アジア世界・地中海世界の形成 ・ オリエント文明 ・ ギリシア世界 ・ ローマ帝国 2 章 南アジア・東南アジアの成立 ・ 古代インド文明 ・ 東南アジア世界の形成		授業時数 4 8	図書館・ICT 機器利用 随時映像教材を利用する
	2 学期	3 章 イスラム世界の形成と拡大 ・ イスラム国家の成立 ・ イスラム文化 4 章 ヨーロッパ世界の形成と変動 ・ 西ヨーロッパ世界の成立 ・ 志望進路別学習		5 6	随時映像教材を利用する
	3 学期	・ 志望進路別学習		3 6	
評価の観点・方法	・ 年に 4 回の定期考查を基本とし、社会的事象に対する関心・意欲、思考・判断力、資料活用 of 技能・技術などの観点を総合的に判断し、5 段階評定で評価する。 ・ 評価における観点については、定期考查・提出物・教師の観察などから総合的に判断する。				

令和５年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
政治・経済		3	2	70	必修
教科書（出版社）		高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）			
担当教員					
学習の目標	・ 政治経済を理解するうえでの基本的な知識と理解を深め、良識ある公民として、考察し、判断する能力を培い、主権者として責任感のある行動を取るために必要な教養を身につける。				
授業内容	授 業 内 容	1 学 期	民主政治の基本原理	授 業 時 数	図書館・ICT 機器利用
			自由権・平等権など基本的人権		
			平和主義		
			国会・内閣・裁判所		
			地方自治		
			国民の政治参加と選挙制度		
授 業 内 容	2 学 期	経済主体と市場の働き	30	ICT 機器により、 教材の提示	
		企業の役割			
		金融の役割			
		財政の役割と課題			
		戦後の日本経済のあゆみ			
		労働問題と社会保障の役割			
授 業 内 容	3 学 期	貿易と国際収支	10	ICT 機器により、 教材の提示	
		国際経済の動向			
		国際連合と国際協力			
		現代社会の諸課題			
評価の観点・方法	定期考査をはじめとして、プリント（リフレクションシート）等の課題提出、グループワーク等の授業態度を総合的に判断して評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
倫理		3	2	70	必修
教科書（出版社）		改訂版 倫理（数研出版）			
担当教員					
学習の目標	青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、先哲の思想を学ぶことを通じて、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
授業内容	1学期	1. 現代に生きる自己の課題 （1）人間とは何か （2）青年期の意義と課題	授業時数		図書館・ICT 機器利用
		2. 西洋思想の源流 （1）哲学の誕生 （2）ソクラテス、プラトン、アリストテレス （3）ヘレニズムの思想	30		ICT 機器により、 教材の提示
		3. 唯一神の宗教 （1）ユダヤ教、キリスト教 （2）イスラーム 4. 古代インド思想と仏教 （1）古代インド思想 （2）仏陀の思想 5. 近代西洋思想 （1）ルネサンス、宗教改革 （2）モラリスト （3）近代科学の誕生	30		ICT 機器により、 教材の提示
	3学期	（4）ベーコンとデカルト	10		ICT 機器により、 教材の提示
評価の観点・方法	定期考査をはじめとして、プリントや課題等の提出度、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価する。				

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
数学Ⅰ		3	3	105	必修選択
教科書（出版社）		[書き込み式]ジュニア演習 数学Ⅰ・A			
担当教員					
学習の目標	数学Ⅰ・A・数学Ⅱ全般の内容の総復習を行い、大学受験に対応できる応用力と実践力をつけることを目標とする。				
授業内容	1学期	整式の乗法 因数分解 実数 1次不等式 集合 命題 2次関数とそのグラフ・2次方程式・2次不等式 三角比（余弦定理・正弦定理）	授業時数 36	図書館・ICT機器利用 なし	
	2学期	空間図形 データの整理 集合の要素の個数 場合の数（順列組合せ） 確率	42	なし	
	3学期	総合演習	27	なし	
評価の観点・方法	① 年間4回の定期考査 ② ノート、プリントの提出状況、授業中の演習の取り組み等				

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
数学Ⅲ		3	6	2 1 0	必修選択
教科書（出版社）		新版 数学Ⅲ（実教出版）			
担当教員					
学習の目標	・ 平面上の曲線について理解を深める ・ 複素数平面の概念を理解し、事象を数学的に考察できるようになる ・ 極限、微分法、積分法についての理解を深め、身近な事物に活用できるようになる				
授業内容	1学期	4月 第1章 複素数平面 複素数の極形式、ド・モアブルの定理、複素数と図形 5月 第3章 関数と極限 無限等比数列、無限級数、無限等比級数 6月 第4章 微分法 分数関数と無理関数、指数・対数・三角関数の極限 関数の連続性 7月 第5章 積分法 不定積分、置換積分部分積分、定積分 区分求積法、面積	授業 時数	7 2	図書館・ICT 機器利用 なし
	2学期	9月 第5章 積分法 体積、回転体の体積 10月 第2章 平面上の曲線 2次曲線、放物線、楕円、双曲線、2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 11月 1年間の復習 12月 1年間の復習	9 0	なし	
	3学期	1月 1年間の復習	4 8	なし	
評価の観点	・ 1，2学期中間・期末の年4回の定期考査の得点で評価する。 ・ 1，2学期末の課題提出、週末課題などを参考にする。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
化学		3	2	70	自由選択
教科書（出版社）		改訂化学（東京書籍）			
担当教員					
学習の目標	・ I C T パソコンを使って日常生活の化学に触れ、興味関心を促し、主体的に考え探究する能力と態度を育てる。 ・ 化学の基礎的・基本的な知識の習得と基本的な概念や原理・法則を理解させるために、十分な問題演習を行う。				
授業内容	1学期	○物質の状態 物質の状態 気体の性質 液体の性質 固体の性質 ○化学反応とエネルギー 化学反応と熱・光 電池と電気分解 ○化学反応の速さと平衡 化学反応の速さ 化学平衡 水溶液中の化学平衡		授業時数 24	図書館・ICT 機器利用 ICT パソコン
	2学期	○無機物質 周期表と元素 非金属元素の単体と化合物 典型金属元素の単体と化合物 遷移元素の単体と化合物 無機物質と人間生活 ○有機化合物 有機化合物の特徴と構造 炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物 有機化合物と人間生活 ○高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活		28	ICT パソコン
	3月学			18	ICT パソコン
評価の観点・方法	定期考査の素点，授業内容確認プリントの提出物，授業態度，出席状況の以上を総合的に見て評価する。				

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
物理基礎		3	2	70	自由選択
教科書（出版社）		高等学校改訂物理（第一学習社）			
担当教員					
学習の目標	・物理的な事物・現象に対する探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てる。 ・物理の基礎的・基本的な知識の習得と基本的な概念や原理・法則の理解を身につける。				
授業内容	1学期	電気と磁気 電場と電位 電流	授業時数 32	図書館・ICT 機器利用	
		夏季休業 電流と磁場（磁場，電流が地場から受ける力）		数値シミュレーションによる演示	
	2学期	電気と磁気 電流と磁場（ローレンツ力） 電磁誘導と交流	38	数値シミュレーションによる演示	
		3学期		授業実施無し	0
評価の観点・方法	考查素点（1学期中間考查は実施せず） 小テスト 提出物				

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
物理		3	4	120	選択必修
教科書（出版社）		高等学校改訂物理（第一学習社）			
担当教員					
学習の目標	・物理的な事物・現象に対する探究心を高め，物理学的に探究する能力と態度を育てる。 ・物理の基礎的・基本的な知識の習得と基本的な概念や原理・法則の理解を身につける。				
授業内容	1学期	微分積分とベクトル 運動とエネルギー 平面運動 剛体のつりあい 様々な運動	授業時数	図書館・ICT 機器利用	
		夏季休業 熱，波動（物理基礎範囲） 気体の熱力学	56	数値シミュレーションによる演 示	
	2学期	波動 波の伝わり方 波の式 ドップラー効果 光 原子 電子と光 原子と原子核	62	数値シミュレーションによる演 示	
		3学期	演習	2	
評価の観点・方法	考查素点 小テスト 提出物				

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
生物基礎		3	2	70	自由選択
教科書（出版社）		高校生物基礎 新訂版（実教出版）			
担当教員					
学習の目標	・ 日常で関わる生命現象に対して興味・関心を持たせる。 ・ 生物学の基本的な原理・法則を理解し、生命現象について記述できる能力を育てる				
授業内容	1学期	体内環境とその維持 ① 恒常性 ② 神経系 ③ ホルモン ④ 免疫	授業時数	図書館・ICT 機器利用	
			32	ICT パソコン	
	2学期	生態系 ① 遷移 ② 生態系 第1章 生態系の保全			
		生物の特徴 ① いろいろな生物 ② 生物の共通性の由来 ③ 細胞の特徴 ④ 代謝・エネルギー ⑤ 酵素・呼吸 ⑥ 光合成・ミトコンドリア、葉緑体 遺伝子 ① DNA ② タンパク質の構成 ③ 遺伝子の発現 第1章	38	ICT パソコン	
	3学期	実施授業なし			
評価の観点・方法	定期考査の素点，授業態度，出席状況を総合的に見て評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
化学		3	4	120	必修選択
教科書（出版社）		改訂化学（東京書籍）			
担当教員					
学習の目標	・ I C T パソコンを使って日常生活の化学に触れ、興味関心を促し、主体的に考え探究する能力と態度を育てる。 ・ 身に着けた知識を、データを用いて I C T パソコンを使って発表する。				
授業内容	1学期	○物質の状態 物質の状態 気体の性質 液体の性質 固体の性質 ○化学反応とエネルギー 化学反応と熱・光 電池と電気分解 ○化学反応の速さと平衡 化学反応の速さ 化学平衡 水溶液中の化学平衡		授業時数	図書館・ICT 機器利用
				56	ICT パソコン
	2学期	○無機物質 周期表と元素 非金属元素の単体と化合物 典型金属元素の単体と化合物 遷移元素の単体と化合物 無機物質と人間生活 ○有機化合物 有機化合物の特徴と構造 炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物 有機化合物と人間生活		62	ICT パソコン
	3学期	○高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活		2	ICT パソコン
評価の観点	定期考査（プレゼンテーション発表）の素点，授業内容確認プリントの提出物，授業態度，出席状況の以上を総合的に見て評価する。				

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
生物		3	4	120	必修選択
教科書（出版社）		生物 改訂版（啓林館）			
担当教員					
学習の目標	・ 日常で関わる生命現象に対して興味・関心を持たせる。 ・ 生物学の基本的な原理・法則を理解し、生命現象について記述できる能力を育てる				
授業内容	1学期	第1部 第1章 生命と物質 第2章 代謝 第3章 遺伝現象と物質 第2部 第2章 有性生殖 第3章 動物の生殖と発生 第4章 植物の生殖と発生	授業時数	図書館・ICT 機器利用 ICT パソコン	
	2学期	第3部 第1章 動物の反応と行動 第2章 植物の環境応答 第4部 第1章 生物の進化 第2章 進化とその仕組み 第3章 生物の系統 第5部 第2章 個体群と生物群集 第3章 生態系	62	ICT パソコン	
	3学期	演習	2	ICT パソコン	
評価の観点	定期考査の素点、小テスト、授業態度、出席状況を総合的に見て評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
体育		3 学年男女	2	7 0	必修
教科書（出版社）					
担当教員					
学習の目	・ 各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わう。 ・ 体力の向上を図り公正、協力、責任などの態度を育てる。 ・ 生涯にわたって計画的に運動に親しむ能力を育てる。				
授業内容	1 学期	・ 体づくり（基礎体力づくり・体力測定） ・ 男女混合等の種目選択制で、年間を 3 期に別けて各期に 1 つ、年間に 3 種目を選んで学習することとする。 ＜開設予定種目＞ A. バスケット B. バレー C. バドミントン D. 卓球 E. サッカー F. 硬式テニス G. ソフトボール H. その他 いずれの種目もさらにいくつかのグループ、チーム編成を行いグループ毎に主体的に学習を進められる様に指導する。 より高い技術の修得、さらには生涯にわたる運動実践への意欲を持たせる。		授 業 時 数	図書館・ICT 機器利用
		・ 水泳 6 月第 2 週～ 7 月第 3 週までを水泳の時期とする。 男子… 1 0 0 m 個人メドレーのタイム 女子… 1 0 0 m 個人メドレーのタイム 個人メドレー…基本的にバタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、クロールをつなぎ泳げるようにする。		2 0	
		・ 体育理論 1 運動・スポーツの文化的特徴について オリンピック・パラリンピックについて		2 2	
	2 学期	・ 1 学期位と同様な種目選択 ・ 体育理論 2 運動・スポーツの学び方について オリンピック・パラリンピックについて		2 4	
				2 2	
	3 学期	・ 2 学期の種目選択の続き		1 8	
評価の観点	・ 実技点・出席点・平常点を総合的に判断して評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
スポーツⅠ		3 学年	2	7 0	選択
教科書（出版社）		現代保健体育 改訂版			
担当教員					
学習の目標	・ 体育大学進学を目指し、大学入試に必要な筆記・実技・面接・小論文に取り組む。 ・ 将来、保健体育科の教員になるために、実技を通した実習を行い、自らの技能の向上と、他人への助言ができるようにする。 ・ トレーナーやコンディショニングコーチ、メンタルトレーニングなど、体育・スポーツに関する知識を習得し、将来に活かせるようにする。				
授業内容	1 学期	・ 大学入試に必要な筆記・実技・面接・小論文を調べる。 ・ 各大学の過去問に取り組む。 ・ マット運動 前・後転、開脚前・後転、伸膝前・後転、倒立前転、後転倒立、ロンダード、ハンドスプリングを行い、お互いに助言することにより、自らの技能の向上と、他人への助言方法を学ぶ。 ・ 跳び箱 開脚跳び、閉脚跳び、水平跳び、台上前転、前方倒立回転跳びを行い、自らの技能の向上と助言方法を学ぶ。		授業時数 2 4	図書館・ICT 機器利用 ICT 機器利用
	2 学期	・ 大学入試に必要な筆記・実技・面接・小論文に取り組む。 ・ 各大学の過去問（実技含む）に取り組む。 ・ ハードル ハードルの段階的指導方法や動画を利用して、他人と比較することにより、自らの技能の向上と助言方法を学ぶ。 ・ ニュースポーツについて学ぶ ターゲットバードゴルフやディスクゴルフなどを用い、生涯を通して、楽しく運動やスポーツに携われるようにする。		2 8	ICT 機器利用
	3 学期	・ 個々の進路に応じて、1年間の授業の成果をまとめ、発表する。		1 8	ICT 機器利用
評価の方法・観点	○出席・授業態度、ノート・レポート、テストを総合的に判断して評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
芸術科音楽Ⅰ		3	2	5 4	選択
教科書（出版社）		MOUSA Ⅰ(教育芸術社)			
担当教員					
学習の目標	・音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める				
授業内容	1学期	◆ 表現（歌唱）：詩のメッセージを大切にして歌おう 強弱記号の解釈と表現		授業時数	図書館・ICT 機器利用
		◆ 表現（器楽）：単旋律の演奏をしよう ◆ 理論：楽典の基礎（音符・休符、リズム・音程） ◆ コード進行と作曲		2 4	◆表現(歌唱) ： CD
	2学期	◆ 表現（歌唱）：季節の歌を歌おう ◆ 表現（器楽）：伴奏をつけて演奏しよう ◆ 理論：楽典の基礎（コード） ◆ 作品発表		2 8	◆表現 （歌唱・器楽） ： CD、映像
		3学期	◆鑑賞：心に寄り添う音楽 上記授業内容は生徒の実状を踏まえ適切に変更することがある。		2
	評価の観点・方法		観点		方法
		◆ 音楽や音楽活動に対する関心・意欲・態度 ◆ 音楽表現の創意工夫 ◆ 音楽表現の技能 ◆ 鑑賞の能力		◆プリント提出 ◆実技試験 ◆筆記試験 ◆観察法	

令和５年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
美術 1		3 年生	2	7 0	選択
教科書（出版社）		光村図書出版 美術 1			
担当教員					
学習の目標	・ 個人の美術に対する能力を伸ばし、美術についての理解を深める。 ・ 生涯にわたり美術を愛好する心情と＋美術文化を尊重する態度を育てる。				
授業内容	1 学期	1、鉛筆デッサン 幾何形体を描く 2、色彩 色彩の基礎 平面構成 3、デザイン ポスターを制作する		授業 時数 4 8 8	図書館・ICT 機器利 用
	2 学期	1、水彩画を描く 鳥の剥製を描く 2、デッサン 石膏デッサン 3、油絵の政策 模写		6 6 6 8	
	3 学期	1 鑑賞		2	
評価の観点・方法	1、幅広い創造活動を体験させ、美的体験を豊かにする。 2、美術を愛好する心情と、それを生活に生かす態度を育てる。 3、感性を高め、美意識を磨く。 4、社会に果たす美術の役割を知り、鑑賞の能力を高める。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
(自選) コミュニケーション 英語Ⅱ		3	2	4 2	選択
教科書（出版社）		・ SPRINT 5 (文英堂) ・ クローザー頻出英文法語法問題(文英堂) ・ 3 訂版共テ 10 分リスニングプレノート(数研出版) ・ Target1400 R (旺文社) ・ Ambition (エスト出版)			
担当教員					
学習 の 目 標	・ 受験で使える基礎基本の定着を図る ・ 難解な長文を読解できるようになる ・ リスニング力を向上させる ・ 速く正確に読めるようにする				
授 業 内 容	1 学 期	・ SPRINT 5 Lesson 1~15 ・ クローザー Lesson1~15 ・ Target1400R Unit1~50		授 業 時 数 3 4	図 書 館 ・ ICT 機 器 利 用
	2 学 期	・ Ambition Chapter1~20 ・ Target1400R Unit51~80 ・ リスニング		3 6	多 読 （図 書 館）
	3 学 期				
評 価 の 観 点 ・ 方 法	・ 単元ごとの確認問題 ・ 学習ワーク、プリントなどの提出物 ・ 出席状況及び授業態度 以上を総合的に見て評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
英語表現Ⅱ		3	2	42	必修
教科書（出版社）		・ Big Dipper English Expression Ⅱ（数研出版） ・ 新訂正版 DUALSCOPE 英語総合問題演習（数研出版） ・ Evergreen（いっずな書店） ・ スクランブル英文法・語法 4th Edition（旺文社） ・ Focus on Listening Pre-Advanced（エミル出版）			
担当教員					
学習の目標	・ 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・ コミュニケーションの基礎となる文法・語法を理解し使えるようにする。 ・ 必要な情報を聞き取って、それに対する応答ができる。 ・ 聞き手や目的に応じて発話し、英語で文を書くことができる。				
授業内容	1学期	Leeson 1 文の種類・組み立て Lesson 2 時制 Lesson 3 助動詞 Lesson 4 動詞の態 実践問題 Lesson 5 不定詞(1) Lesson 6 不定詞(2) Lesson 7 動名詞 Lesson 8 分詞 実践問題	授業時数 18	図書館・ICT 機器利用 特になし	
	2学期	Lesson 9 比較 Lesson 10 関係詞(1) Lesson 11 関係詞(2) 実践問題 Leeson 12 仮定法 Lesson 13 話法 Lesson 14 否定。特殊構文 Lesson 15 接続詞 Lesson 16 前置詞。名詞。冠詞。代名詞 Lesson 17 形容詞。副詞・群動詞	22	特になし	
	3学期				

評価の観点・方法	・ 定期考査の素点 ・ ワークブック、ノート、プリントなどの提出物 ・ 小テスト、発表活動における積極性、授業態度 ・ 出席状況 以上を総合的に見て評価する
----------	--

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
総合英語		3	3	90	必修
教科書（出版社）		Interesting Stories（旺文社） Target1400 R 基礎 英語長文 問題精講 （旺文社） 大学入試共通テスト英語【リーディング】対策 Reach40（美誠社） 共通テストリスニング 実践 30min（エミル出版）			
担当教員					
学習の目標	四技能を鍛え、積極的に英語でコミュニケーションを楽しめる力を育成する。 ・ Reading 入試頻出テーマで現代社会を考察させる内容を読み、読解力や思考力を高める。 ・ Listening 身近なテーマに関するまとまった量の内容を聞き、リスニング力を高める。 ・ Speaking 自分のことを伝え、相手のことを聞く基礎的なコミュニケーション力を養う。 ・ Writing 形に沿って書く訓練により、英語で自分の意見を表現できるようにする。				
授業内容	1学期	・ Interesting Stories（旺文社） Unit 1～Unit 10 History, Culture ・ 基礎 英語長文 問題精講 Unit 1～Unit 7 ・ 大学入試共通テスト英語【リーディング】対策 Reach40 賛成・反対／自分について語る ・ 共通テストリスニング 実践 30min Lesson 1～8		授業 時数 34	図書館・ICT 機器利 用
	2学期	・ Interesting Stories（旺文社） Unit 11～Unit 12 History, Culture ・ 基礎 英語長文 問題精講 Unit 10～Unit 20 ・ 大学入試共通テスト英語【リーディング】対策 Reach40 賛成・反対／自分について語る ・ 共通テストリスニング 実践 30min Lesson 9～13		36	多読（図書館）
	3学期	・ Interesting Stories（旺文社） Unit 13～Unit 15 ・ 基礎 英語長文 問題精講 まとめ ・ 大学入試共通テスト英語【リーディング】対策 Reach40 まとめ ・ 共通テストリスニング 実践 30min まとめ		20	多読（図書館）

評価の観点・方法	・ 単元ごとの確認問題 ・ 学習ワーク、プリントなどの提出物 ・ 出席状況及び授業態度 以上を総合的に見て評価する。
-----------------	---

令和5年度 年間授業計画

東京都立大崎高等学校全日制課程

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
コミュニケーション英語Ⅲ		3	3	81	必修
教科書（出版社）		Power OnⅢ English CommunicationⅡ（東京書籍） Wide Angle4（エスト出版） Focus on Listening pre-advanced（エスト出版） Aim High 3 美誠社 英単語ターゲット1900（旺文社）			
担当教員					
学習の目標	・発音に気をつけながら音読し、まとまりを意識しながら読むことができる。 ・現代社会の様々な問題への理解を深める。 ・聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 ・話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。				
授業内容	1学期	Power On Ⅲ Lesson 6～12 Wide Angle 4 Unit 1~15		授業時数 36	図書館・ICT 機器利用
	2学期	Power On ⅢLesson 13～15 Aim High 3 Unit 1~15		45	
	3学期				
評価の観点・方法	定期考査の素点 ・ワークブック、ノート、プリントなどの提出物 ・単語テスト、授業態度 ・出席状況 以上を総合的に見て評価する。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別
子どもの発達と保育		3	2	70	選択
教科書（出版社）		子どもの発達と保育（実教出版）			
担当教員					
学習の目標	・保育に関する基礎的・根本的な知識と技術を習得させ生活産業の社会的意義や役割を理解させるとともに、保育の分野に関わる諸課題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践を養う。				
授業内容	1学期	保育を学ぶにあたって 保育の意義 子どもの発達の特性 子どもの発達の過程 絵本の読み聞かせ （年齢に応じた絵本の選び方、園児たちをひきつける絵本の読み方） 保育園実習 文化祭展示作品制作		授業時数 20	図書館・ICT 機器利用 図書館・ICT 機器利用
	2学期	保育園実習のまとめ、レポート 保育の環境 子どもの生活 ・子どもの健康と生活 ・子どもの食事 ・子どもの遊びと生活		18	ICT 機器利用
	3学期	卒業にむけて			ICT 機器利用
評価の観点・方法	・ワークショップにより、知識がどれだけえられたか。 ・実技でどれだけ人をひきつけられたか。 ・レポートの提出により、主体的に関心を持って調べ、自分の意見がまとめられたか。 ・作品の完成度。				

科 目 名		配当学年	単位数	年間授業時数	必修・選択の別	
総合的な学習の時間		3 年	1	3 5	必修	
教科書（出版社）		なし				
担当教員		3 学年担任				
学習の目標	①自分を見つめ、様々な人との関わりを通じて、自己理解を深める。 ②正しい勤労観や職業観を身に付け、社会生活を営むための生活態度や行動の仕方を学ぶ。 ③基礎学力の充実を図り、進路選択に活用する。					
授業内容	1 学期	・ 学習の仕方学び方 ・ 進路調査 ・ 進路ガイダンス（進路実現に向けて） ・ 調査書説明会 ・ 進路の手引きガイダンス ・ 志望理由書・小論文の作成講座 ・ 模擬面接			授 業 時 数	図書館・ICT 機器利用
					1 8	なし
					2 学期	
	3 学期					
評価の観点・方法	・ 目標とする進路に対して実現するために真剣に取り組んだか。 ・ 自己の課題に対して取り組み自己の課題を解決できたか。					